

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 17 日

事務事業名		林道整備事業					事業区分		担当		
政策体系	政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	040105000799	
	総合計画の施策名		0401 農林業の振興				単独/補助	補助	所属課	050101	
	政策名		04	活力ある産業のまちづくり						課長名	農林課
	施策名		01	農林業の振興						グループ	農林G
	手段名		05	⑤森林（里山）の保全と魅力づくり						担当者名	
財務会計上の位置付け							事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	06	02	03	01	00	林道整備事業				
法令根拠							単年度繰返し（平成17年度～）				
							➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手段	(1) 事務事業の概要									
	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	・林道の路肩や路面の決壊等が発生した場合、改良事業として県に申請し、整備を行う事業である。 ・また、開設林道の維持管理を実施している事業である。					・整備箇所の現地確認 ・県への補助申請 ・工事の設計および発注 ・工事管理 ・県への実績報告				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
工事実施箇所 ・県単 林道改良工事(端上線) ・県単 林道改良工事(平沢線)		工事実施箇所	箇所	3.00	2.00	3.00	3.00	3.00
		工事実施延長	m	125.00	72.00	56.00	56.00	56.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市内林道		林道の総延長	m	52,574.80	52,574.80	52,574.80	52,574.80	52,574.80
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
未整備箇所の舗装及び改良		端上線舗装率	%	26.69	27.46	27.99	28.52	29.05
		平沢線改良率(現在計画区間)	%	66.66	88.88	100.00	100.00	100.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	7,400	4,200	5,000		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	23,061	13,946	22,164		
			事業費計（A）	千円	30,461	18,146	27,164		
	量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)				07年度事業費 予算(千円)			
	12 委託料	1,298			12 委託料	4,620		
	13 使用料及び賃借料	326			13 使用料及び賃借料	330		
	14 工事請負費	15,763			14 工事請負費	21,180		
	15 原材料費	759			15 原材料費	1,034		
合 計				18,146	合 計			

(4) 当該年度の実施内容		07年度の事業内容		08年度の事業内容		09年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		・整備箇所の現地確認 ・県への補助申請 ・工事の設計および発注 ・工事管理 ・県への実績報告		・整備箇所の現地確認 ・県への補助申請 ・工事の設計および発注 ・工事管理 ・県への実績報告		・整備箇所の現地確認 ・県への補助申請 ・工事の設計および発注 ・工事管理 ・県への実績報告	

事務事業名	林道整備事業	事務事業No.	40105000799	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
端上線の舗装工事は、平成9年度から地元要望により着手された事業である。 平沢線改良工事は、豪雨災害や路肩崩落に伴う改進黨業である。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
端上線舗装工事の早期完成が望まれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	
評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	結びついている 当初からの目的は、継続事業として進行し達成されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	妥当である 林道は公共道路の役割も担うため、事業を市で実施することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	向上余地がある 林道整備に必要な道として、また生活道や森林浴ができる効率的な森林施行に重点を置いた林道整備が必要になってくる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	影響有 森林や林道が荒廃し、通行に危険が生じる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	余地がない 他に類似事業がなく統合や連携は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	削減余地がない 地元要望もある中で、県と連携しながら必要最低限の事業費で継続して事業を行っており、これ以上の事業費の削減は難しい。 人件費については、現場確認にも時間を要する場所で、また設計も委託し最低限の業務時間で事業を行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公正・公平である 林道の改進黨業に関しては地元要望によって着手しているが、用地や補償費については無償で協力することが整備の条件となっている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																								
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒ 現在の林道整備の目的は、観光や生活道路としての役割が重要視されている。今後も効率的な林業施行に重点を置いた林道整備が以前にも増して求められている。																							
(3) 今後の事業の方向性																								
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 廃止 ☐ 休止 → ☒ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる ☐ 現状維持																								
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																								
今後整備を続けていくのか、検討する。																								
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ⑨																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
B A：継続 (現状維持) C：終了、廃止、休止 B：継続 (改革改善を行う) D：2次評価へ提出	